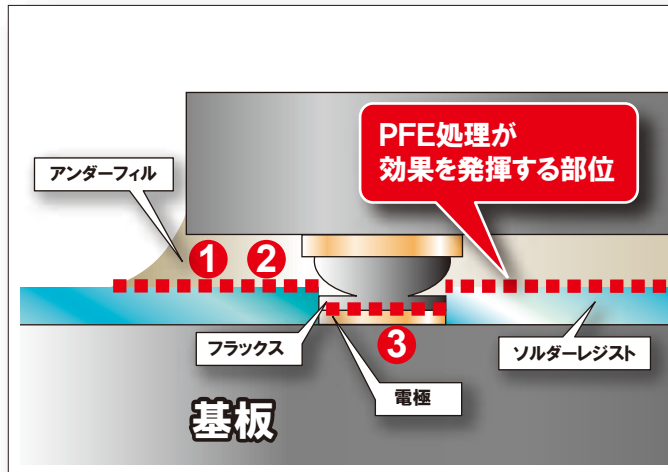
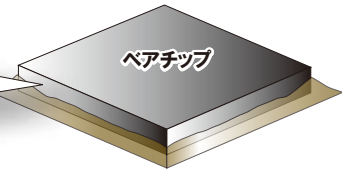


変わらないけど、こんなに違う!

PFE処理による接着・密着性向上



■利用目的



電子部品実装の処理として適用することで、以下の効果が期待できます。

- ① アンダーフィルの密着性向上
- ② SR (ソルダーレジスト) の有機物残渣除去
- ③ プリフラックスの濡れ性改善

ポイント①

濡れ性の向上

粒子、水、圧縮エアを用いるPFE処理は、微小研磨材に低圧エアを組み合わせることで、パネル一面にわたって表面の色味をほとんど変えずに、濡れ性向上をおこなうことが可能です。

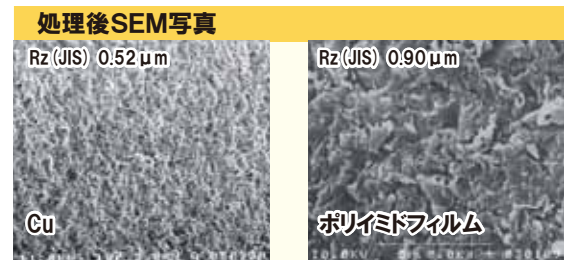


※写真は、PFE処理をおこなった表面に、水滴をたらしめた状態を撮影したものです。効果は、対象材質、処理条件によって異なります。

ポイント②

アンカー効果/表面積拡大

アンカー効果とは、表面にある凹凸の隙間に接着剤などが入り込んだ後に固まり、クサビのように働き密着力を上げる効果です。PFE処理は、サブミクロンレベルで表面に無数の凹凸をつくり出すことが可能です。



※いずれもアルミナ#2000(中心粒径6.7 μm)を使用し、処理エア一圧:0.2MPa、処理速度:30mm/sにて処理

デモ装置によるPFE処理のサンプルテストを承っております。
詳細に関しては、お気軽にこちらまでご連絡ください。

マコー株式会社 営業部 営業第三課 橋 和寿
TEL:0258-47-1729 E_mail:inquiry@macoho.co.jp

●内容に関する情報は、マコーホームページでもご覧いただけます。 <http://www.macoho.co.jp>